



2016

12月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



- |   |         |                    |
|---|---------|--------------------|
| 2 | 二言三言    | 地域と一緒に始めた古民家カフェ    |
| 4 | 団体紹介    | 一般社団法人 ほまれの会 (室根)  |
| 5 | 地域紹介    | 花泉 日形・払田集落 (花泉)    |
| 6 | 企業紹介    | 合同会社 じゃんぐるジム (一関)  |
| 7 | センターの〇〇 | センター独自調査！イルミネーション編 |

## 地域と一緒に始めて始めた古民家カフェ

対談者 Hirasawa F. market オーナー 熊谷志江さん  
聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹

### 地域の野菜を楽しめるカフェに

【小野寺】最近古民家をリノベーションしてカフェにするなどの動きがポツポツと出てきており、地域の空き家対策についての関心度の高まりが見えてきています。そんな中、地域の方から「Hirasawa F. market（以下「Hirasawa」）ではどんな風にやっているの？」と聞かれることがあるので、今回この紙面を通してご紹介したいと思い、この場を用意させていただきました。お店のオープンから一年が経ちましたが、まずはその率直な感想を教えてください。



Hirasawa F. market オーナー 熊谷志江さん

【熊谷】本当にあっという間でした。当初の予定では近所の年配の方々が作った野菜をお店で売りたいかっただんですが、高齢で売れるほどの野菜をつくれなくなったのと、地元の兼業農家の方たちはまだ野菜の育て方を試行錯誤している段階で品物を出せないという状況だったんです。そんななか、おおすみファームさんやトマガールさんなど、若手農家の方々が地域にいるんだということを知りました。その方々が作る野菜は、私たちがつくる野菜とは格段に味が違い、それだけ手間暇をかけて研究をしているんです。私やお店の職員は元々お料理が好きなんですが、プロの料理人にはありません。それでもお料理に使う素材がよいので、

そんなに凝ったことをしなくても美味しいものができるんです。ただ、お店に商品を置いてくれる農家さんのことを考えると、私たちのお店に置くより産直で一度にたくさんの量を買った方が効率的ですし、うちのように少しずつ商品を置くとなると採算が合わないんですよ。でも、お店の雰囲気気に入ってくださったり、お店のお客さんにお料理を通じて野菜を食べてもらうことで品物のよさを提案できることが嬉しいんです。実際に農家さんがお店に野菜を納品して下さっている時に、その野菜を使っているお料理を食べていたお客さんと直接コミュニケーションがとれた時があって、農家さんは「それがすごく嬉しい」って話してくださいました。



野菜をはじめ地元の品物が並ぶ店内

### 地域との関係づくり

【小野寺】この平沢という地域には、商店もなくなり、ちょっとした買い物をする場がない、お茶をする場がないという意見（課題）を聴くようになっていたところに、このお店がオープンしました。

【熊谷】オープンの日だったのですが、地元の地域のご高齢の女性が食事をしに来てくれたんですけど、年配の方だから和食だろうなと思ったところ「外食するんだから普段食べない洋食にする」と言われた時は少

し驚きました(笑)それは余談ですが、地域との関わりは、つかず離れずの関係ですね。お客さんの割合としては外の地域から来る方が多いんですが、お店でイベントを行う時は地域の方にも協力してもらったり、地域の話し合いの場に利用してもらったりしています。

【小野寺】7月に開催した「いろいろ市」では、地元平沢ブースが出ていたり、平沢の方が駐車場係をしてくれたりしていましたね。

【熊谷】そうですね。本当は地元の方の野菜を置いて、地域に貢献したいという想いがあったんですが、今は逆に貢献されてばかりです。ここに引っ越してきて、温かくしてくれた恩返しの意味もあるんですが、そんなのおこがましくて……。あと何年経ったら地域に恩返しできるのか……。



【小野寺】そんなことないと思いますよ。ここでこうして新しい起こりが起きたことで、地域の人たちは喜んでいないじゃないですか。よかったなと思ったのは、やはり平沢郷づくり協議会の立ち上がりのタイミングと同時に志江さんの計画があり、そこで地域の方と合意形成がとれたというところだと思うんですね。

【熊谷】平沢でお店を始めたいということを区長さんに話して、そのあとに相談に行ったのが小野寺さんでした(笑)その時に、協議会につないでもらって、別の区長さんから空き家を使っていよいよと言ってもらえるタイミングがあったからなんですよ。最初、私が協議会の話し合いに参加していいのかなって不安でしたが「いいんだよ、いいんだよ！」って言ってもらえて安心しました。

【小野寺】志江さんの気持ちを平沢の皆が受け入れてくれた瞬間でしたね。連携って、何かを一緒にすることだけではなくて、知恵を出し合うことも立派な連携で、平沢の場合は、志江さんの想いを聴いて、区長さんたちが相談しあって、物件の紹介だったり、協議会でも応援していこうと決めて、今ここにあるんですよ。

【熊谷】そうですね。でも、「頑張っ！」と私を応

援してくれていた方の中でも、心では「大丈夫かな」と心配していた方もいたようでした。

開店前の話し合いでは、区長さんから「計画が甘い」とか厳しい意見を受け凹んだこともありましたが、後でそれが親切心からの意見だと気づいた時は本当に感謝の気持ちでいっぱいになりましたね。

【小野寺】経験を持っている区長さんたちだからこそ厳しくも、いい意味での心配をしてくれていたんですね(笑)あと、協議会の集まりの時に、迷惑だったかもしれないんですが、進捗状況やオープンしてからの様子などを伝えてもらうようにしたこともありました。

【熊谷】そうですね。そういうこともあり、地域の方には知っていただけました。弥栄市民センターさんはここでイベントを開いてくれたり、何かのイベントに行けば「Hirasawaです」と言えば歓迎してくれるし。

【小野寺】オーナーは志江さんだけど、平沢郷づくり協議会のメンバーも立ち上げの経緯を知っているから、平沢の店という意識が地元の人たちにもあるようですしね。

【熊谷】平沢の人たちがよい人たちなのかな。

【小野寺】リノベーションする時に、地域の子どもも一緒にしっくいを塗ったりしたじゃないですか。その関わった小さな経験が、地域の人たちも「一緒に頑張ろうね」という気持ちになっているんだと思います。

## 皆が喜ぶことを少しずつ形にしていきたい

【小野寺】将来的に目指していきたい姿は何ですか？

【熊谷】その質問はよくされるんですが、軸は自分自身で、日々私が感じたことや思うこと、お客さんや生産者さんや地域の人や自分が喜ぶことを形にしていきたいと思っています。

いきなりたくさんはできませんが、地域の皆さんのお力を貸していただきながら、少しずつ実現していきたいです。皆さんに喜んでもらえる、私もやりがいを感じますし一緒に嬉しくもなりますので、これからも皆さんにとってそんな気持ちになってもらえるような素敵なお店を目指して頑張っていきたいと思います。

## 基本情報

【Hirasawa F. market】

住所: 〒029-0211 一関市弥栄字膳棚 57 番地

電話: 090-7522-2103(熊谷さん携帯)

e-mail: yksan39@me.com

facebook: <https://fb.me/Hirasawa.food.market>

## 団体 紹介



ほまれの会のみなさん

### ～基本情報～

- ◆代 表：菅原満子さん
- ◆住 所：〒029-1211  
一関市室根町津谷川字葛ヶ沢  
145-5
- ◆電 話：0191-65-2200
- ◆Facebook：「一般社団法人ほまれの会」

## 日常生活と社会生活を‘安心して’送ることができる 小さな村

### 1枚のイメージ図がつないだ4人の志

県道18号本吉室根線沿いに立つ「ペコラビレジ」の手作りの看板。看板を辿って行くと、1軒の「家」が現れます。今回取材に伺った「一般社団法人ほまれの会」の事務所であり、ほまれの会が開拓を進めている小さな村的空間「ペコラビレジ」の拠点ともなる障がいを持つ人たちのグループホームです。

ほまれの会は、気仙沼で長年障がい者支援の仕事をしていた4人が立ち上げた法人。理事の3人は、前職でセンター長や施設長を務めたり、相談支援員としても経験豊富ですが、その経験の中で、家族等からの虐待を受け、居住先を転々とする人々を目の当たりにしてきました。受け入れ先にも制度や基準があり、「受け入れやすい人はどこにでも行けるが、本当に大変な人こそ行き場がない」という現実があったとか。そうした現状への違和感から、次第に「つなぐだけの支援じゃなく、引受先のない人たちが‘安心して暮らせる場所’を創りたい」という想いが芽生えていきました。

時を同じくして代表の菅原さんが、縁のあった人から土地と空き家を借り受け、障がいを持つ人たちのためのグループホームの開設を検討していました。ガーデンドesignerの資格をもつ菅原さんが、その構想を1枚のイメージ図に描き出すと、‘安心して暮らせる場所’を模索していた3人が「これだ！」と確信。平成27年8月、4人で「ペコラビレジ」の開拓へと歩み出したのです。

### 切実な需要に応えて

今年4月からグループホームとなる空き家のリノベーションをスタートさせましたが、用途変更申請や、それに係る予想外の改修作業等が発生し、開所は難航。11月1日付でようやくグループホームが開所しまし

た。6～8畳の1人部屋が5部屋ありますが、気仙沼時代に保護していた2名の虐待ケースや、行き場がなく点々としていた人など、開所前から5部屋すべてが埋まっており、需要が多いことは明らか。今後はホームに暮らす人や、東磐井地域からの通所作業所としての就労継続支援B型事業所の開設を進める他、上記のような需要に応えられるよう、グループホームの2号館設置を目指し、室根まちづくり協議会が設置する「空き家ワーキンググループ」にも参加しています。

### 「地域に育ててもらいたい」

開所にあたり地域で開催した説明会には多くの人が集まり、不安や心配な表情も見受けられた反面、入所者について「住民になってくれるんだべ？」と、この地域の住民になることを歓迎してくれる声もあり「住民の1人として見てくれることが嬉しかった」と菅原さん。これまで自分の居場所がなく点々としてきた人が多いことから「この家で自分の役割を見出せるようにしていきたい。本人が望むなら最期までこの家で暮らすことができるし、自立を望むならそれを応援していく」と、理事のみなさんも抱負を語ります。

現在懸命に整備を進めている庭・農園部分には、遊歩道等を設け、「地域の人たちがいつでもフラッと来ることができるようにしておきたい。お年寄りたちのお茶のみの場などにも使って欲しい」と、地域住民との交流も積極的に図っていききたいとのこと。イメージ画が現実になる日が今から楽しみです。



「ペコラビレジ」のはじまりとも言える菅原さん作のイメージ画

## 地域紹介



サロンはらいだAKB  
まさよし  
代表 千葉政吉さん

### ～基本情報～

下流には刈生沢の滝があり、金沢と日形の境となる払田集落は、17戸約60名の小さな集落です。今回は集落公民館長を13年、行政区長を12年務め、引退後は集落内にサロン活動を立ち上げた千葉政吉さんにお話を伺ってきました。

## 地域内外での交流の場を大切に—新たな交流圏での再出発—

### 引退後も続く‘健康美男美女’の交流の場

平成23年9月に、払田集落に新たなグループが発足しました。その名も「サロンはらいだAKB」。AKBは「明るく 健康 美男美女」の略で、サロンを立ち上げた千葉政吉さんが命名しました。

25歳の時から長年集落運営に携わってきた千葉さんは、いざ地域活動を引退した時に地域の中に引退後の活動や交流の場がないことに気づき、自らサロンを立ち上げました。15名の会員は男女半々。「男性参加者が多いから行動力があるんだよ」という千葉さんの言葉通り、活動はパークゴルフ体験や他地域のサロンとの交流活動など、積極的に地域外に出向き、交流や体験の機会を設けています。

一昨年からはじめ、年に1回は必ず行う他地域との交流活動では、町内での交流の他、大東町猿沢のサロンとも交流を行いました。お互いの地域を行き来し、当該地域の歴史・観光名所の見学や、演芸等を披露し合う他、千葉さんが大切にしているのが‘自己紹介’。「人前に出て話をするのは誰でも勇気があるし、その中で何を話そうかと考えることは脳トレになり、ボケ防止にもなる」と千葉さん。「この自己紹介が思ったよりみんな上手なんだ！」と笑います。他地域との交流会は毎回好評で、サロン活動そのものへの新規参加者も毎年いるのだとか。今や集落公認のサロン活動として集落になくはならない存在となっているようです。

### 住民1人1人に敬意を

払田集落には昭和28年から継続している「子どもの日を祝う会」という行事があります。毎年5月5日に行うお祝いの会で、全戸が参加し、各家から持ち寄った食べ物を囲みながら子どもたちの健康をお祝いします。始めた当時は公民館などの拠点もなく、地域活動もほとんどない状況。そこで地域の有志が声を掛け、自発的に始まったというイベントが、今もなお続いて

いるというのは驚きです。一時期、集落に子どもがいない時期があり、その時から「子どもの日・母の日を祝う会」とし、子どもたちにはお菓子の詰め合わせを、お母さんたちには花を贈るようになったそうで、現在もその形で継続しています。

また、千葉さんが作成している「集落内の‘〇〇名人’‘ここが一番!’」という記録集を見せていただきました。集落に長年関わってきた中で見つけた集落民の特技等を書き留めたそのノートを見ながら「いつか本にまとめたんだ」と千葉さん。住民1人1人を大切にし、みんなでお祝いをしたり、尊敬の意を示してきたであろう払田集落の地域性が現れているようです。

### 集落の将来を見据えての決断

昭和57年の閉校まで、刈生沢小学校へと通っていた払田集落の子どもたち。閉校後は日形小学校ではなく通学距離の短い金沢小学校へと通いました。そのため、農業関係は日形に属するも、学校を巻き込むことが多い市民センター行事は金沢に帰属。払田住民にとってはそれが当たり前で、苦にはなっていなかったと言えます。しかし、各市民センター単位で地域協働体を組織する動きになり、このままで良いものか集落で話し合いを重ねました。結果として日形の協働体に属することを選んだ払田集落ですが、いざ行事となると躊躇してしまい、まだ集落として日形の行事には参加できずにいると言います。とは言え、協働体の設立にあたっては「積極的に関わった」と千葉さん。「後から参加すれば、それこそ本当に‘お客様’になってしまうからね」地域のこれからの見据えての払田地域の決断を日形地域も金沢地域も暖かく見守っています。



9月に行われた猿沢のサロンとの交流会の様子

## 企業紹介



代表  
佐々木 修さん

### ～基本情報～

- ◆代 表: 佐々木 修さん
- ◆連 絡 先: 〒021-0821  
一関市三関字神田 21-1
- ◆電 話: 0191-48-3556
- ◆F A X: 0191-48-3556
- ◆U R L: <http://www.junglegym.jpn.com>

## 女性をはじめとする様々な人材が活躍できる地域づくりを目指して

### 女性の雇用に関する背景

古き日本では、男性も女性も共に農作業で汗を流し、子どもを育て互いに尊重し合いながら家庭を守り築く歴史背景があります。明治時代に入ると、繊維産業が日本経済の要となり、外で働き賃金を得る女性労働者も増えてはいましたが、低賃金のうえ女性に対する待遇は良くなかったとされています。

こうした待遇を改善しようとする動きはあったようですが、第二次世界大戦の色が濃くなるにつれ、改善の動きは消え去られていったといえます。戦後は高度成長期とともに女性の社会進出も進みましたが、結婚・育児などを機に離職し、そのまま復帰しない、または、復帰後も職歴を活かす職につかない・つけない傾向が見られるようになり、男女の待遇差が問題視されるようになりました。

こうしたことを受け、昭和 60 年に男女雇用機会均等法が制定されましたが、現在でも小さな子どものいる女性や、一人で家庭を支えなくてはならない女性、これから結婚し出産しようとする女性にとってまだまだ不安の多い時代です。

### 女性の働く機会や実情を知る

同社代表の佐々木さんは、約 30 年間勤務した一関市役所を早期退職後、「女性をはじめとする様々な人材が活躍できる地域づくりを目指したい」という思いから平成 25 年 10 月に合同会社を立ち上げました。「市役所職員時代、男女共同参画推進担当と同じ職場であった時期があり、女性を取り巻く環境改善が、なかなか進まない実情等も感じていました。また、市役所退職後、少しの間でしたがお手伝いをしたフリーペーパーの制作現場においても、希望や意欲を持った女性や若者の

皆さんが、家庭との両立に苦しみながら頑張っている姿を目のあたりにし、支援の必要性を強く感じました」と佐々木さんは当時を振り返ります。

### 女性起業家の支援

同社では、女性や若者ならではの感覚を最大限に発揮できるよう、様々な分野（観光・サービス・地場産品を活用した商品開発・地域資源を活用したコミュニティビジネスなど）において、起業支援や人材育成等を行ない、スモールビジネスの促進による地域産業の活性化事業を行っています。平成 26 年からは、「いちのせき ちっちゃいビジネス開業応援塾※」の一関現地スタッフとしても活動している佐々木さんは、「仙台や郡山での同講座の受講生は、1,000 名を優に超える実績のある講座ですが、一関においても、これまでに 100 名以上の方に参加していただき、そのうち 10%以上の方が既に起業されています。結婚・出産などで離職を余儀なくされたスキルを持った女性や、これから地域での活躍を志す女性・若者など、やる気を持って頑張ろうとしている方々のほんの少しのお手伝いですが、受講された方々は生き生きと人生に自信をもって活動されているようです。そういった皆様がどんどん社会や地域に認知してもらえるよう、私どもはスモールビジネスの促進事業等を通じて、地域産業の復興・活性化を支援したい」と語り、最後に「女性が元気だと家庭が元気になる。家庭が元気だと地域も元気になりますね」と笑顔で締めくくっていただきました。

※一関市「いちのせき起業応援講座」事業受託者株式会社ゆいネット



自分の得意分野で起業したいと考えている女性の強い味方！ホームページ作成やチラシの作成、企画書・事業計画書の作成等承っています

## センターの 〇〇!



### ～今月の特集～

一関市には色々な場所にイルミネーションスポットがありますが、自分が住む地域以外ではどんなイルミネーションがあるんだろう？ということで、先月に引き続きセンターの独自調査を行いました。

毎月スタッフが行っている定期訪問の訪問先を中心に「見た人が『おおっ!』と思うような地域のきれいなイルミネーションはどこですか？」という質問をさせていただきました。そこで一番回答が多かったイルミネーションを1地域1つずつご紹介します。

下で紹介されていない川崎・東山の2地域では条件に当てはまるようなイルミネーションが見つかりませんが、もし「こんな場所あるよ!」という情報があればセンターまでよろしくお願いします。

この調査はいちのせき市民活動センター調べになります。ご協力いただいた皆様ありがとうございます!

### 一関

#### 平間牧場のイルミネーション



15年前、イベントに合わせてお孫さんを喜ばせようと思ったのが本格的に始めたきっかけ。「準備や片付けなど苦労もあるが、遠くから見に来る方もいて期待が励みにもなる。今は気の向くままにやれる範囲でやっている」とのこと。近くよりも284号線沿いからの眺めがベストポジション。

期間	12月上旬～1月3日(火)頃
場所	一関市三関字小沢100-1 平間牧場
主催	平間牧場の平間哲子さん

### 大東

#### 千葉静男さん宅のイルミネーション



平成10年頃にお孫さんを喜ばせようと庭先で始めたイルミネーションが地元の方に好評を頂き、さらに自宅の壁面を使って行うようになりました。作業には毎年地元の方々にお手伝い頂いています。今年は諸々の事情により設置できませんが、来年は開催し地域を明るく照らしたいです。

期間	例年だと11月下旬から1月3日(火)まで ※今年はいりません
場所	大東町洪民字竹町9-1 千葉静男さん宅
主催	千葉静男さん、地域住民有志5～7人

### 室根

#### 本宿イルミネーション街道



平成22年に2戸からスタートし、今年は20戸もの家が通りを照らします。町内の企業や集落からの他出者が電飾を寄贈してくれるなど協力の輪が広がり、空き家にも装飾が施されます。各家の「ウリ」や、ストーリー性のある装飾にもご注目ください。

期間	11月23日(水)～1月7日(土)
場所	室根町津谷川字本宿・主要地方道本吉室根線沿い
主催	中津谷川イルミネーション同好会

### 藤沢

#### 田舎のイルミネーション



30年程前に庭に植えたモミの木に飾り付けをしてから少しずつ飾りが増え、今では軒先まで2万5千個以上の電球や人形などで輝き、期間中は市内外からたくさんの方が訪れます(庭の中まで自由に見ることができます)。

期間	12月中旬～1月中
場所	藤沢町藤沢字馬ノ船69 佐藤勝弘さん宅
主催	佐藤勝弘さん

### 花泉

#### 冬のスターマイン



子どもたちが大きくなったのを機に、クリスマス飾りを庭の木に巻いたのがきっかけ。以来25年以上知人や親戚からのプレゼントもあり、年々規模を増し、今では日形の冬の風物詩になっています。竹を組んでかたどった手作りの大きな星が自慢です。

期間	12月1日(木)～2月28日(火)
場所	花泉町日形字上通25 熊谷孝子さん宅
主催	熊谷孝子さん

### 千厩

#### せんまや光のページェント



千厩には冬のイベントが少ないということで、平成12年から始まった取り組みです。1-1区自治会と1-2区自治会の共同作業で愛宕児童公園にイルミネーションが飾り付けられます。

期間	12月中旬～1月3日(火)
場所	千厩町千厩 愛宕児童公園
主催	せんまや光のページェント実行委員会

# おしらせ

## 一関

### イベントスタッフバンク 開設のお知らせ

一関市で行われるイベントに、ボランティアスタッフとして参加してみたい方はいませんか？メールアドレスをご登録いただくと、スタッフを募集しているイベントの情報を随時受信することができます。

詳しくは12月1日(木)からいちのせき市民活動センターのホームページにて公開していきますのでチェックよろしくお願ひします！

\*\*\*\*\*

【問合せ】いちのせき市民活動センター

【電話】0191-26-6400

## 一関

### クリスマスリース教室

旧達古袋小学校で育てた朝顔の蔓でクリスマスリースを作ります。内藤寛子さん(東京在住)を講師に、シダローズ、ドイツウヒなどの材料を使って皆でオリジナルリースづくりに挑戦します。申し込みは下記問合せ先まで、先着20名受け付けます。

\*\*\*\*\*

【日時】平成28年12月4日(日)10時~12時

【場所】旧達古袋小学校

【参加費】1,000円(高校生以下は無料)

【問合せ】NPO法人一関のなかなか遺産を考える会

【電話】0191-25-2911((株)あべ建築開発)

## 一関

### キャンドルナイト 冬至

手作りの温かいエコキャンドルの灯りの中、皆で幻想的でスローな夜を過ごしましょう。冬至の夜に一齐に電気を消し、大切な人可想ったり、世界の平和を考えたり、省エネについて考えたり...ゆるやかに繋がる「くらやみのウェーブ」を世界中に広げましょう。

\*\*\*\*\*

【日時】平成28年12月3日(土)17時~

【場所】北上川学習交流館あいぼ一と

【料金】無料

【問合せ】一関世代にかける橋

【電話】0191-23-9721(橋本)

## 一関

### キャンドルナイト 冬至 ボランティア募集

「キャンドルナイト 冬至」で、キャンドルを地面に並べるなどの会場設営や、終了後の後片付けをお手伝いしてくれるボランティアを募集しています。年齢・性別問いません。お気軽にお問い合わせください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成28年12月3日(土)

15時30分~20時

【場所】北上川学習交流館あいぼ一と

【服装】寒くない服装

【問合せ】一関世代にかける橋

【電話】0191-23-9721(橋本)

## 一関

### さらなみき企画展 「高橋康一とオノデラ1世展」

一関市にお住まいの、障がいを持つアーティストさんの作品展を行います。今回は、点描画の高橋康一さんと期待の作家オノデラ1世さんにスポットを当て、二人の特別展示を開催します。

\*\*\*\*\*

【期間】平成28年12月6日(火)~1月29日(日)

【場所】さらなみき自閉症美術館 ※月曜・祝日定休

(一関市中央町1丁目1-4)

【料金】入館料無料

【問合せ】場所と同じ

【電話】0191-48-3622

## 一関

### まちづくりコーディネーター 養成講座

地域づくり活動における基本的な考え方や進め方、知識を身につけて、まちづくりコーディネーターになろう！①まちづくりコーディネーター概論②話し合いの仕方③規約・事業計画と資金調達④情報発信のスキルの全4回講座です。

\*\*\*\*\*

【期日】①終了②終了③12月10日(土)

④平成29年1月14日(土)

【場所】なのはなプラザ4階 共同会議室

【参加料】2,000円(全4回分)

【問合せ】0191-26-6400(いちのせき市民活動センター)

## 一関

### 門松作り

手作り門松で気持ちよく新年を迎えましょう！講師である佐藤靖雄さん(あいぼ一とサポートスタッフ)の実演を見学し、その後皆で門松を飾りつけます。12月8日(木)までに先着10名でお申し込みを受け付けています。

\*\*\*\*\*

【日時】平成28年12月17日(土)10時~

【場所】北上川学習交流館あいぼ一と

【料金】無料 ※一人ひとつの作成です。

【問合せ】場所と同じ

【電話】0191-26-0077

## 藤沢

### 館ヶ森ごっつおマラソン

第8回館ヶ森風祭り2017の第1弾企画です。大人の部は11.5km、子供の部は2.5kmの距離を走破して頂きます。部門ごとに上位3名まで表彰・賞品の贈呈、走後はランチ、温泉入浴、ミニコンサート(全て参加費込)もお楽しみ頂けます。12月20日(火)までにお申し込みください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成29年1月29日(日)7時45分受付開始

【場所】館ヶ森高原ホテル 受付

【参加費】大人3,500円、小学生以下1,500円

【問合せ】花と泉の公園

【電話】0191-82-4066

## 藤沢

### 館ヶ森グルメファン ウォーキング

第8回館ヶ森風祭り2017の第2弾企画です。岩手サファリパークから館ヶ森アーク牧場の場内をトレッキングします。各ポイントで材料を入手して「館ヶ森高原豚まん」を作ろう！2mの大鍋で蒸かしたできたての豚まんをご堪能ください。1月20日(金)までにお申し込みください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成29年2月5日(日)9時受付開始

【場所】館ヶ森アーク牧場 受付

【参加費】大人2,000円、小学生以下1,200円

【問合せ】館ヶ森アーク牧場

【電話】0191-63-5100

## 今月の表紙



室根で偶然出会った個性あふれるかかし達。去年から室根 15 区の農家組合と自治会との共催で取り組み始め、班ごとに制作しているそうです。10 月末から 11 月上旬の収穫祭までの短い期間しか出会えないとのこと。来年も楽しみですね。

## Q & A あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q 「ファシリテーター」とは何ですか？

A 中立的な立場で、参加者から意見を引き出し、話し合いを活性化させる人のことです。会議の議題や決定事項には入り込まず、合意形成に至る過程をリードします。

